

- , 1977. *Frag. Coleop.* (22-24):87-98。
- , 1980. *Rep. Fac. Sci. Kagoshima Univ. (Earth Sci. & Biol.)*, (13):127-130。
- , 1984. *昆虫と自然* 19(5):13-16。
- , 1985. *Frag. Coleop.* (38/40):154-156。
- 中根猛彦・大沢省三・小阪敏和, 1975. *広島虫の会々報* (14):125-127。
- 高倉康男, 1977. *生物福岡* (17):6-13。

(FEB. 1987)

## ハラグロオテントウの生活史

東 正 雄

クワキジラミ (*Anomoneura mori* Schwarz) は年1回の発生。5月下旬～6月に出現し、成虫で越冬。幼虫はクワの大害虫で葉裏に群生、白色で尾端に白色の長い分泌物がついている。この害虫の天敵であるハラグロオテントウ *Callicaria superba* (Mulsant) の分布は本州・四国・九州；台湾・中国、チベット、インドと広い範囲であるが県下では稀な種でその採集は容易でない。

このハラグロオテントウの生活史について県下産のもので観察することが出来たので簡単に報告しておく。

1978年5月20日宝塚市西谷地域<sup>コバヤ</sup>香合新田でクワの老樹からハラグロオテントウ8匹を採集し観察中5月22日夜25個の淡黄色の産卵したのを発見する。卵の大きさは長 3mm、幅 1.3mm。

5月26日20時3個の卵が図示したような黒色の区切りが見られたので孵化近いと推定。

5月30日第1回脱皮し2齢となる。

6月2日第2回脱皮し3齢となる。

6月4日第3回脱皮し4齢となる。黄色となる。この頃から蛹化し始める(?)

6月10日～11日 蛹化完了。濃黄褐色となる。

6月17日～6月21日 成化。

(17日7時頃1匹；18日7時頃2匹；18日17時頃3匹；19日13時40分頃2匹；21日成化1匹)。

蛹期 7日間(?)

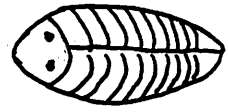
6月25日 香合新田桑の実より現地で成化したもの数匹採集持帰る。

7月1日より気温30℃以上。湿度、食餌採集につとめた。

7月20日頃より気温34℃~38℃(8月12日)水を入れて温度調節をはかった。

8月22日1匹死す。

9月16日1匹死す。



[ 3mm x 1.3mm ]

ガラス水槽(小)で3 exs.夏すぎてから飼育 12月19~20日夜気温3℃~4℃となるため21日朝1匹死す残りこの分2匹となる。

2階南側室温(10℃~12℃)小箱容器土・木片など入れて温度保持しつつ越冬状態に入れる。12月25日死す。

1979年1月3 exs.が越冬したが1月下旬1匹死亡。

2月下旬1匹死亡。4月25日1匹死亡(4月に入ったのでプラスチック容器23℃内外上昇したのか?)失敗であった。成虫越冬することがわかった。

1979年5月12日香合新田に出掛け現地で調査すると昨年と同じ所のクワの老樹に数匹生存していた。

以上大変粗雑ではあるがハラグロオオテントウの生活史の一端を報告する。

## 兵庫県産珍稀な蛾類の追加

東 正 雄

昭和40年刊行の「京阪新の動物」には19種の珍稀な蛾類を報告した。その後兵庫県下で採集されたなかで著しく珍稀であるもの、やがて絶産となる蛾類について追加する。資料を提供された採集者や協力者に対し深く感謝する。

エゾシモフリスズメ *Maganoton scribae* Astant (スズメガ科)